

佐渡市議会は新たな構成でスタートしました

議長就任のあいさつ

佐渡市議会議長 猪股 文彦



私はこのたび、議員各位のご推挙により議長に就任致しました。

地方自治の原則である二元代表制

の一翼を担う、批判と監視の府である佐渡市議会の議長として、市民の負託に応えるべく全力を尽くす所存です。

佐渡市も合併後15年目に入りますが、未だに十か市町村時代の悪弊が残り、一市としてのまとまりがないのが実情です。様々な行事が旧市町村単位で実施され合併の最大の利点である「スケールメリット」が発揮されていません。

「無理が通れば道理が引つ込む」の格言の通り、将来世代のために汗をかかなければならない政治が、無理が通つてとかく横道にそれがちです。

私たち世代は、少しずつ我慢をして将来の世代につなげていかななくてはなりません。つまり、「佐渡に住みたい」と子どもや孫たちがUターンしたくなるような佐渡市の礎を作る責任があります。

少子高齢化が最も進む自治体のひとつである佐渡市が、将来とも生き残れるよう市議会の議長としての職責を果たしていきます。

市民の皆さまにおかれましては、佐渡市議会を「監視」とともに、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

副議長就任のあいさつ

佐渡市議会副議長 中川 直美



いま、政治不信と民主主義のあり方が大きく問われています。

市民に最も身近な地方自治Ⅱ市政・議会も例外ではなく、いかに主権者である市民の期待に応えられる議会になるかが問われています。

全国的に議会の役割である、批判と監視の府を高める事や、政策立案、積極的な情報公開等のあり方が模索され実践されています。

先進事例に学び市民目線のあり方を議員とともに進め、地方自治法に定められた副議長の職務を微力ではありますが努めて参ります。

市民の暮らしや地域経済は深刻な状況下が続いています。

政治は市民のためにあります。市民の期待に応え、希望ある地域づくりを目指す議会となるよう、全力を上げることを表明し、挨拶いたします。